

謹啓前略御免下さい

私事、渡辺紋子の弟、加藤友市で御座います。

此の度渡辺姉さんに對しましては一方ならぬ御世話様になつて事
厚しく御礼申上ります。御手紙拝見致し驚入りまゝです。

昨年日本に來られまゝ時は元氣で東國に歸る時までも何事
變りなく達者で居られまゝで亡くなられたとは今では本當で

あるでしょうか。思ひ居ります。御知せの通り病氣が病氣
である故にうする事もあまふいわけです。ぬでも

子供の照る、中正。はなれて居ても居るので母の春満は
おたり姉さんも力強いかつた事と思ひ居ります。

昨年日本に四十年ぶりに來て兄弟と親せき方々
又日本各名所を見物し人生最後の顔合せとなつて

次弟です。ぬ本當に姉弟が亡くなつた事は
何んと言つても良いか淋しきもので御座います。

次に笹谷の實家、祐子の子の話によれば東國の御知の
御手紙にお教へさん。まゝ渡辺義造様の遺骨を

中正さん日本に持つて行き、世谷墓地に納めて
いたゞいて下さいとの事、話をしなさい。それだけで

五光由の加藤姉さんとせうに相談致しなさい。

東國にも二人僅もあるのが日本に度々來られるのもよく
父母の墓参りもお來ないの事なにかとも思ひ、それ故東國
は東國のやり方で照子、中正も東國に於て父母を
思ひなさい方が良いかと思ひます。

何分照子、中正君によろしく申して下さる

PAR AVION 航空郵便



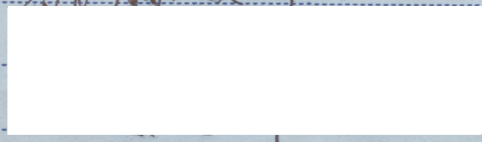
西岡重幸様

Mr. Shizueki ~~At~~ Nichioka
[Redacted]
New York, N.Y.
10011

つぎに ここを おる Second fold here

差出人郵便番号住所氏名
Sender's name, address and postal code

加藤友市



(960-11)

この郵便物には なにも入れたりはりつけたりすることができません
Nothing may be contained in or attached to this letter.

はじめに ここを おる

First fold here

何分西岡さんには御世話様になります

今迄は米国に姉弟が居るものと思ひ込んで居るもの

今度からは姉は亡^うものとありませう。かゝ子供^の照子。中正

米国に居るので全部あきらめなくとも良いと思ひ告ります

では淋しくこれにてしる筆を止めます。

二月八日

西岡重幸様

福島市成川字信松五

加藤友市

To open cut here